

在宅医ネットよこはま 東部・南部研究会

“在宅医ネットよこはま”では在宅医療に従事する皆様と、多職種間で考えていきたいと考えております。

今回は、進行した認知症患者さんの栄養管理において、意欲や嚥下機能が低下した際、人工的な水分や栄養の補給は、必要なことなのか余計なことなのか。それぞれの立場で、どのように考えているのか。自分たちは、これからどうしていきべきなのか、その方向を皆で探るために、皆様のご参加をお待ちしております。

『進行した認知症患者さんが食べられなくなったら』

日時：平成25年9月7日(土) 18:30～21:00

場所：鶴見公会堂 講堂

横浜市鶴見区豊岡町2-1 フーガ1 6・7階 (045) 583-1353

会費：1000円

開会のあいさつ 在宅医ネットよこはま代表

岡田孝弘氏

座長： 福澤クリニック

福澤邦康氏

講演1：多様な立場から

「胃瘻の適応をいろいろな角度からみてみよう」

西神奈川ヘルスケアクリニック 赤羽重樹氏

講演2：病院医師の立場から

「こんな時、何を選択することが良いのか？」

済生会若草病院 内科 町田洋太氏

講演3：訪問診療医師の立場から

「家族と医療者の狭間で揺れる想い、そして選択。」

赤尾内科クリニック 赤尾正樹氏

講演4：弁護士の立場から

「大丈夫ですよ、法的問題。～気を付けるべきポイントはここ！」

みなと綜合法律事務所 海野宏行氏

ディスカッション ～ 皆で考えましょう

・事前申し込みは不要です・記帳の手間と時間を省略するために名刺をお持ち下さい。

お問合せ先：西神奈川ヘルスケアクリニック E-mail info@nishikanagawa-hc.com

電話045-430-3530(平日9～16時・水曜日以外)

『進行した認知症患者さんが食べられなくなったら』

日時：平成25年9月7日（土） 18:30～21:00

場所：鶴見公会堂 講堂

横浜市鶴見区豊岡町2-1 西友・フーガ1 6・7階

(045) 583-1353

↑ 至川崎駅



↓ 至横浜駅

物品展示：(株)大塚製薬工場,
オリンパスメディカルサイエンス販売(株),
キンバリークラーク・ヘルスケア・インク,
クリエートメディック(株),